

(1) 検討対象施設の配置方針（原案）について

① 亀城プラザ、消費生活センター

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・ 内容に合理性があると思いながら伺いました。落ちていた視点があるとしたら、中心市街地全体の機能の役割を考えていったときに、亀城プラザとか亀城公園の辺りが、中心市街地にとってどういう場所になっていくかということと、亀城プラザをどうしていくかというのが、かなり密接に関連させて考える必要があると思います。 ・ 公共施設の再配置の方からするとこの通りだなと思う一方で、地域としてここを閉鎖していったときに、公園を中心とした違う形での役割を考えると必要になってくる部分だと思いますので、施設の中で、これで行くという方向を持ちつつ、エリアとしてどうしていくかのところの議論もやり取りしながら、こういう方向で進むのであれば地域としてどんなまちづくりを今後していくかというところも、目配りしていく必要があると思いました。	・ 亀城プラザにつきましては、配置方針の原案にあるように、現在すぐに閉館というのは難しいこともあり、資料 2 の 4 ページ右下で機能移転の検討を、令和 14 年頃までに行いたいと示しています。代替施設が不足していることもあり、近隣の再編を進めていく中で、代替施設が確保できてくるような時期に、また改めて検討していきたいと考えています。 ・ 検討にあたっては、所管部署とあわせて、ご意見いただいたような中心市街地としての位置付け、亀城公園周辺の位置付けも含めて、検討したいと考えています。
2	・ 方向性は賛成ですが、タイムスケジュールが長いので、期間中に弊行も建て替え移転等が検討されるのではないかと考えています。中心市街地の活性化に、弊行の土浦駅前支店の跡地の問題もあり、亀城公園周りの歴史的な街並みとか、そういったところのトータルでのコーディネート、魅力度向上も含めて、市と協力しながら、お役に立てればと考えておりますので、是非こういったところでの弊行に対しての申し入れとか、ご要望等もお寄せいただければと考えております。	・ 常陽銀行は駅前支店も含め、中心市街地に店舗が複数立地しておりますので、中心市街地の活性化、魅力度向上に、協働して進めていける部分があると思いますので、それにつきましても検討し、ご協力を仰げればと考えております。

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
3	・確かに事務局案が妥当だと思うんですけども、現時点ではその代替施設が確保できていないということで、現施設の利用を継続する令和14年ぐらいまでに、その代替施設が確保できるかどうかというのは、この会議とはまた別なところで検討されてくるものなのか、ある程度何か見込みがあるのでしょうか。 ・亀城プラザの現在の利用状況で、運動室が一番断トツで多いんですが、運動室を代替施設に移す場合、機能移転先で「C, 屋内運動施設（体育施設）」とあるんですけど、どこも屋内体育施設って混んでいるというか、体育館とかも借りづらい状況だと思うんですけど、現時点でこの運動室をどこか移転する場合はどういうところっていう案はありますか。	・現時点では、どの施設がどの時期に代替施設になっていくかという見込みは、そこまで立ってはおりませんが、地区内の施設について再編を進める中で、代替施設を生み出していきたいと考えております。今後、地区ごとに再編計画案を考え、本策定委員会で検討していただきたいと考えております。 ・ご指摘のとおり、市内の体育施設は非常に混んでいる状況です。この亀城プラザの運動室ではダンス等が多いですが、本地区内も含め、なかなかそういう施設が少ない状況にあります。ウララの5階の県南生涯学習センターには、1つ運動室があります。昼間などは空いてるような状況ですので、1つの代替施設に出来る可能性はありますが、市の施設では現時点ではなかなか見つからないような状況です。
4	・利用している立場として、駐車場が非常に致命的なんですね。バスがあれば便利でいいところであるとも思うんですが、どのぐらいの方がバスで来ているのか、マイカーで来ているのか。そのあたりのところが改めて建て直すとしても、駐車場確保というのは一番重要なことかなと思っております。 ・いろいろな問題があって使えないのではないかなとも思うんですが、やはり民間の施設の会議室等も活用させていただきながら、考えていくっていうことも重要なことかなと思っております。	・民間施設の状況も念頭に入れつつ、研究していきたいと考えております。

②高齢者福祉施設

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・今日ご説明いただいたのは高齢者福祉施設の方でしたけれども、おそらく「③障害者等施設」も同じように進めるということだと思うのですが、内容そのものはこの方向でいいかなという風に思いましたし、特に浴室サービスのところ、段階的に縮小していくというのもこの通りでよいのかなと思いました。 ・ちょっと違う視点でいきますと、福祉のサービスそのものがどういう在り方に行くべきかというところの議論も、関連してくるところかなと思います。直接公共が用意するところだけではなく、土浦市の生きがい対応型デイサービスのよう、公共と民間が連携して、福祉の部分の領域に係るような色々なサービスを作っていくことが増えていくと、施設そのものを公共が持たずともできる部分も出てくると思いますし、最近増えてきたジム等、サービスの選択肢とか、民間の方でも担ってもらえているところとの連携みたいなところも、福祉の部局の皆さんにも検討いただきながらやっていけると、サービスが減るということではなく、より充実する方向での議論ができるのかなという風に思いました。 ・障害者等施設も同様で、社会福祉法人の持っている施設の中で地域の人に開いていくようなものを持っているような所もだいぶ増えてきていて、公共がやるものだけではない、民間の力を一緒に結えていけるような所を福祉の中でも議論していけると良いのかなという風に思います。	・市としても、市民との協働や民間活力というのを重視しているところですので、ご指摘いただいた公共施設だけではなく、民間そして地区の住民との協働という形で充実させていきたいと考えておりますので、所管課と一緒に検討してまいります。

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
2	・老人福祉センターの利用者数の中に、お風呂を目的にしてくる方はどのくらいいらっしゃるのか。これを第一義的に考えて、来る方がいるのかということを考えた場合に、あまりお風呂に近くない立場としては、なくなることもやむを得ないのではないかと考えております。 ・やはりこういう高齢者のサービスというのは、単体としてそういうサービスが必要であるということではなく、複合的な多機能的な建物に入っていくということが大事なのかなと思いました。子供も少ない中で、子供と高齢者が、いろいろな一般の人たちの生涯学習的な機能を持つ公民館、そういうものの中に入っていくというならばいいのかなと考えました。 ・民間というのは事業者だけでなく、一般地域の市民が一緒になってやっていくという意味の民間としてとらえていった方がよいと思います。お互いに相互扶助で、いずれ自分も相談していくんだからというようなことで、働き方改革の中で、そういう方面に、市民が動いていく、ボランティアで、そういう方向を狙ったりしてやっていけばいいのかなと思っています。	・資料2の5ページの右下にあります、ほとんどの利用者はお風呂目的で施設に来ていらっしゃるだろうと考えております。浴室サービスは段階的に縮小していく方針ですが、他の施設を案内するほか、民間対応型サービス等、民間の力も借りながら、充足していきたいというふうに考えています。 ・民間の力も借りながら、サービスを充足していきたいと考えておりますが、ご指摘の通りそこには市民との協働という部分も含まれてくると思いますので、そういった方向でも集約等を検討していきたいと考えています。
3	・これだけ利用比率が低くて、固定化してて、なおかつ入浴目的に来られている。公益性や公共性を鑑みて、市が行政サービスで提供していくものかという議論もあるかと思いますが、そういう中で、かかる行政コストを低減していくために、受益者負担を求めるっていう検討はされないんですか。多少、200・300円でも取ると、行政コストが少しでも減って、早く広域化、移転複合化の検討も進められるということでは、検討されてもいいのではないかと、そのように考えております。	・老人福祉センターにつきましては、老人福祉法の中で定めがあり、利用料は「無料または低額な料金」と定められておりますので、おそらく100円か200円程度しか取れないと考えております。しかしながら維持費としてはそれで到底賄えるものではありませんので、厳しい状況にあると考えています。

④一中地区

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・一中地区は市の中心部のところなので、今回挙がっている施設が、一中地区としての施設なのかというところが少し気になっていて、いろいろな市全域からも来るような施設が一中地区のものとして使える部分もありつつ、そういう状況から豪華目になっている所があって、一中地区のものとして検討して縮小しすぎてしまうと、市全域の方で足りなくなってしまうかという点と、逆に全域を対象としたものの一部を一中地区のものとして使っている場合に、一中地区の方が使いやすいという所が足りなくなってしまうかというところは、考慮して検討していただけた方がいいのかなという風に思いました。	・一中地区につきましては、その再編を進めていく際に、ご指摘の部分も含めて検討して参りたいと思います。

⑨都和地区

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・地区の実情に合わせながら見ていくというのでよく整理していただけてるなと思います。 ・抜けているかもしれないと思った点が、今回対象となっている施設間だけで検討しているところで、例えば、各地区にある小学校とか中学校、例えば空き教室だったりとか、空き時間を使った統合とか複合化とか検討できないんだろうかと思うところがありました。 ・例えば、児童クラブ的なもの、児童館的なものを小学校の中というようなことも、ほかの自治体では検討されてると思うんですけども、今日のお話ですと、対象となっている施設の間で融通し合っている案なので、その融通の範囲をもう少し広げられても良いのではないかなという風に感じました。	・小中学校の教室の活用について、学校施設の状況としては、放課後や休みの日も空いてる部分はあります。しかしながら、安全上の問題や、教員の管理や責任の範囲等について、調整が困難な状況にあると伺っています。

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
2	・ 13ページの配置パターン3案を見ていて、どうしても行政コストっていうのでパターン2を見てたんですけれども、一番コストが抑えられるもので、老朽化が著しい都和児童館を残す、長寿命化になってる。なんかこう、児童館をなくせばいいんじゃないかなって思ってたので、このパターン2にそういう小学校とかの連携で、この、老朽化が進んでいる児童館を、閉館してすっきりさせた方がいいのではないかなと考えております。	・ 都和児童館の長寿命化について、資料2では1億3,900万円ぐらいかかるという試算を示しています。コストがかかりますが、都和児童館は、住宅地の中心にあり、園庭が広く、そして遊具も多数あることから、地区の子供たちが非常に多く集まって非常に活気がある場所という事情もあります。ご指摘の小学校との連携だけでなく、児童館を残すという選択肢もあると考えているため、効率的な建て替えの可能性も含めて、地区の住民の方々と協議しながらまとめていきたいと考えております。
3	・ 都和児童館を小学校にくっつけたらどうかという点について、私はすっきりしていいなと思った反面、よくよく考えてみると、やっぱり小学校は大体学童がついているため、学童に通う子と、児童館が一緒になってしまうと、児童館の指導員が、学童の指導員がどこまで見ればいいのかっていう話になったりとか、預かるお子さんも児童館っていうのはそもそも自由に、お子さんが行ったり来たりできる施設で、学童っていうのは、保護者がやっぱりお金を払ってお願いしている施設なので、お金を払って見ている子と、お金を払わないで見ている子と一緒にのエリアになってしまうっていうのは、やっぱりいろいろ不便が出てきてしまうんじゃないかなあと思ってたので、児童館は児童館で別にあった方が、健全なんじゃないかなって思いました。	・ 今後、地区の再編を進めていく際に、ご指摘の部分も含めて検討して参りたいと思います。

⑩新治地区

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・農業センターや農産物加工処理センターというのはどういう人たちが活用されているのでしょうか。 ・今農業に対する女性活躍など、女性が色々な仕事に就いていくという中で、街の中に施設を持ってきて、農業そのものをもっと街の中に入れていただいて、いろいろな人の目について、自分もこういう仕事で活躍してみたいなっていう、そういうことも考えていけばいいのかなと思いました。 ・皆さんが土浦でできた、色々な農産物をどうやって商品化して、美味しく消費者達に渡そう、そういうようなことをやっている場所なのかなと思ったんですね。だから消費者たちにもっともっと目に映るような所に置いていただいて、一緒に私達からの要望についてとか、お互いに出し合ったりして、それを土浦の1つの産業にできるかどうか、中高生の勉強にもなっていくような、そういう場所になったらいいなと思います。	・農業センターについては、農業公社が入っており、地域の蕎麦農家が生産した蕎麦を買い取って、製粉して販売するという事業、地区内の婦人団体・女性団体が、調理室を活用して「土浦小町みそ」というブランド化をして販売するという事業を行っています。 ・調理室、蕎麦の実を擦る施設、それから物を保管するという機能、利用形態となっています。 ・施設の立地はまちなかでもいいのではというご意見については、同地区内の小町の館という観光施設に集約するのが、現在の機能上、一番適切だと考えています。しかしながら、現状の小町の館ではスペースが足りないということで、それらの課題について今後検討していきたいと考えております。

(2) 五中地区における公共施設再編方針（案）のパブリック・コメント実施について

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・当初、話が出た時よりも丁寧に地域とお話しをして、検討していただけたのかなと思いますし、今回お示しいただいた内容についても、みなさんの意見も踏まえた上での調整になっているのかなと思いますので、よろしいかなと思いました。また、移転の時期のこととかも、地域の利用の状況も踏まえた変更ですので、それは合理性があるなと思いました。 ・一点、やっぱり休館期間が入ってしまうところ、まとめたのに一旦使えなくなるっていうところ、不便をどうサポート出来るかというところに工夫が必要かなと思って、コンビニ利用とかができるように、まだここが使える	・公民館の長寿命化、増築工事に伴う休館期間については、1年から1年半程度を見込んでおります。期間については、同じ五中地区内に神立コミュニティセンターという同種施設がございますので、そちらを利用していただくか、あとは近隣の地区公民館を利用していただくようにご案内して参りたいと思います。

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
	間に知っていただくような講習をすとか、そういうところでフォローしたりすることがあればより良いのかなと思いました。	
2	- 増築なので、部分的に何か使えないところが出てくるかもしれないけれども、他の部分で使い続けることも出来そうな気もするんですけど、その点はどうでしょうか。 - アンケートなどによると、学習・図書スペースが欲しいというのは、数としては一番多かったと思うんですけど、アンケートで答えられた意図というのはどういったところにあったんですかね。子供たちの受験勉強みたいなスペースなのか、それとも大人の人たちも、そういうスペースが欲しいっていう風に思っているのか。場所もそうだし、面積もそれで本当に適当な施設がどうかという辺りを考えてみてください。	- 併せて長寿命化工事も行いますので、どうしても中を空にするような作業がありますので、難しいと考えております。 「学ぶ」のスペースに関しましては、現位置が第五中学校に隣接していることもあり、主に子供を想定しております。現在も五中の生徒が送り迎えを待っている時間帯に図書室を利用する等の利用形態があるため、学ぶスペースをつくればそういう活用もできると考えております。ただし、場所が適切かどうかという点については基本設計の中で、また地元の実際に公民館を使用されている方々とともに検討していくのがよいと考えています。
3	- 説明会について、20名っていうのは、多すぎてもまずっていうような、どういう基準で限定されているのか聞きたいなと思いました。 - 地区長さんは行政といろいろと普段から接点を持って、いろいろな声が聞けているのではないかなという想いと、なかなかこういう声に出せない人たち、住民の人たち、そういう人たちの声を聞くことが大事ではないかっていうところからの、この発案だったかなっていう気はするんですが、そうしましたらば、是非とも地区長さんには、そういう方たちからのいろいろな情報を、聞き取って持ってきてくださいとか、そういうことをしていかないと、本当の住民の方の声が入ってこないのではないかなと思いました。	- あくまでも市からの説明という形ではなく、地区の皆さんに集まっていたいただき、意見交換をしていただきたいという観点から、会場の収容人数も考慮の上、20名程度が適切だと判断したものです。実際に参加された方につきましては、各地区の地区長に加え、数名の一般の方という内訳でした。 - 五中地区における再編方針案の策定にあたっては、地区にお住いの皆様のご意見を伺う際にご指摘の点を含め、より多様な方々からのご意見を伺うため、Webアンケートを実施したものです。

(3) その他

No.	主 な 御 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・同じ市内で、人口の移動といいますか、旧商店街とか、閑散になって、今まで調整区域の住宅がなかったようなところが、大型に開発されまして、ここの地区の小学校は教室が足りないという話もありますので、本当にその中で行政がどういった建物で対応していくのかという点が大変だなと感じておりました。	・地域間、都市間での移動は大きく、市内での移動もあります。土浦市内の人口は、出生数が低くなっている事に伴い、自然減の状況です。ただ、社会動態としては他の市町村から土浦市に来られる方の方が多くなっており、総括すると、今のところ土浦市は人口が若干増えているという状況です。 ・特に、新たに団地が開発されたということで、五中地区、中でもおおつ野地区の人口が増えており、学校が手狭になってしまいうということで、現在、菅谷小学校を閉校としまして、上大津の統合小学校の建替えを進めています。一方で、そのおおつ野地区もこれから先ずっと人口が増え続けるわけではなく、団地が埋まればまた減少していくことが想定されます。 ・そのため、特定の時点に合わせて公共施設を各地区に作りすぎてしまうと、やがてまた老朽化或いは人口減少問題に直面してしまうと考えられるため、こういった再編再配置計画の中で、現存する施設を大切にしながら、将来の人口維持も見据えつつ検討してまいります。
	・上記の意見に関連して、全体の中で、交通の便についてはこう考えてあるなどということがあれば、事務局からお聞きしたい。	